



和製 マジヨリカ タイル

*Japan-made
Majolica Tiles
— Trail of Inspiration*

— 憧れの連鎖

2018年11月3日(土) ~
2019年4月9日(火)

主催= INAX ライブミュージアム企画委員会
協力= 株式会社 Danto Tile、台湾花磚博物館、コンフォルト(建築資料研究社)
展示デザイン= GENETO

 INAX ライブミュージアム



和製マジョリカタイル—憧れの連鎖

Japan-made Majolica Tiles — Trail of Inspiration

「和製マジョリカタイル」とは、大正初めから昭和10年代に日本で生産された多彩色レリーフタイルで、近代イギリスのヴィクトリアンタイルを模倣したものです。イギリスを代表するタイルメーカーが、イタリアやスペインのマヨルカ焼きの流れをくむ多彩色表現という意味で「マジョリカタイル」という商品群を売り出しており、日本でもそれをそのまま呼び名としたようです。明治維新後に建った欧米人の住居に使われたヴィクトリアンタイルを見て、日本の設計者たちは意匠の美しさや耐火性・耐水性などの機能に注目し、日本での生産を望みました。内装タイルのパイオニアメーカーたちは製法を研究し、明治40年頃には乾式プレス成形法を確立して和製マジョリカタイルをつくります。昭和6～7年の輸出最盛期には、東南アジア、インド、中南米、アフリカなどにまで輸出していました。近年、台湾ではマジョリカタイルのブームもあるとか。この展覧会ではイギリスのタイルへの憧れから生まれた和製マジョリカタイルの魅力、そして世界へと広がった憧れの連鎖に迫ります。

Japan-made Majolica tiles are multi-colored relief tiles created in Japan during the beginning of the Taisho era and the first decade of the Showa era that emulate the Victorian tiles of modern England.

When selling these multi-colored wares, leading British tile makers named them 'Majolica tiles' in order to reflect their roots in Italian and Spanish maiolica pottery—and the subsequent Japan-made version kept this name intact.

Seeing the Victorian tiles that were used when constructing Westerners' residences following the Meiji Restoration, architects in Japan called for their domestic production after being drawn toward their beautiful designs, as well as their functional elements such as resistance to both fire and water.

Pioneer manufacturers of interior tiles began researching fabrication methods, and after establishing a dry press forming method in around 1907 (year 40 of the Meiji era), they began creating Majolica tiles in Japan. During the height of their export during 1931 and 1932 (years six and seven of the Showa era), the tiles traveled as far as Southeast Asia, India, Central and South America, Australia and Africa. Recently, there has also been a "Majolica tile boom" in Taiwan.

Clearly, then, Japan-made Majolica tiles—which were created after being inspired by British tiles—are poised for popularity, as well as for a continuing trail of inspiration around the globe.



1

1 / 緑色草加文レリーフタイル 製造会社不詳 英国製 19世紀



2



3



4



5

4 / 佐治タイルカタログ表紙 昭和10年頃発行
5 / 佐治タイルカタログマジョリカタイル掲載のページ

ほか展示品 日本のタイルメーカーが模倣したヴィクトリアンタイル約10点。和製マジョリカタイル約40～50点。和製マジョリカタイルが使われた国内外の建築事例写真。和製マジョリカタイルの復元品による空間デザインの提案、など。

会期.....2018年11月3日(土)～2019年4月9日(火)

会場.....INAXライブミュージアム「土・どろんこ館」企画展示室

開館時間.....10:00am～5:00pm(入館は4:30pmまで)

休館日.....毎週水曜日(祝日の場合は開館) 2018年12月26日(水)～2019年1月4日(金)

共通入館料.....一般:600円、高・大学生:400円、小・中学生:200円(税込、各種割引あり)

INAXライブミュージアムへのアクセス

◆バス

名鉄線「常滑駅」または中部国際空港より知多バス「知多半田駅」行き「INAXライブミュージアム前」下車徒歩2分

◆お車(乗用車・バス駐車場完備)

名鉄線「常滑駅」より約6分
中部国際空港より約10分(「りんくうIC」降りる)
セントレアライン(名古屋方面から)「常滑IC」より約7分
知多半島道路「半田IC」より約15分



愛知県常滑市奥栄町1-130

TEL: 0569-34-8282

FAX: 0569-34-8283

<http://www.livingculture.lixil/ilm/>



INAXライブミュージアム

INAXライブミュージアムはLIXILが運営する文化施設です。

お知らせ

展覧会開催中、ミュージアムショップにて2019 LIXIL オリジナルタイルカレンダー“豊かさへの憧れ「和製マジョリカタイル」”を発売します(11月下旬頃よりなくなり次第終了)。また12月初には書籍『和製マジョリカタイル—憧れの連鎖』(LIXIL出版)も販売の予定です。

